

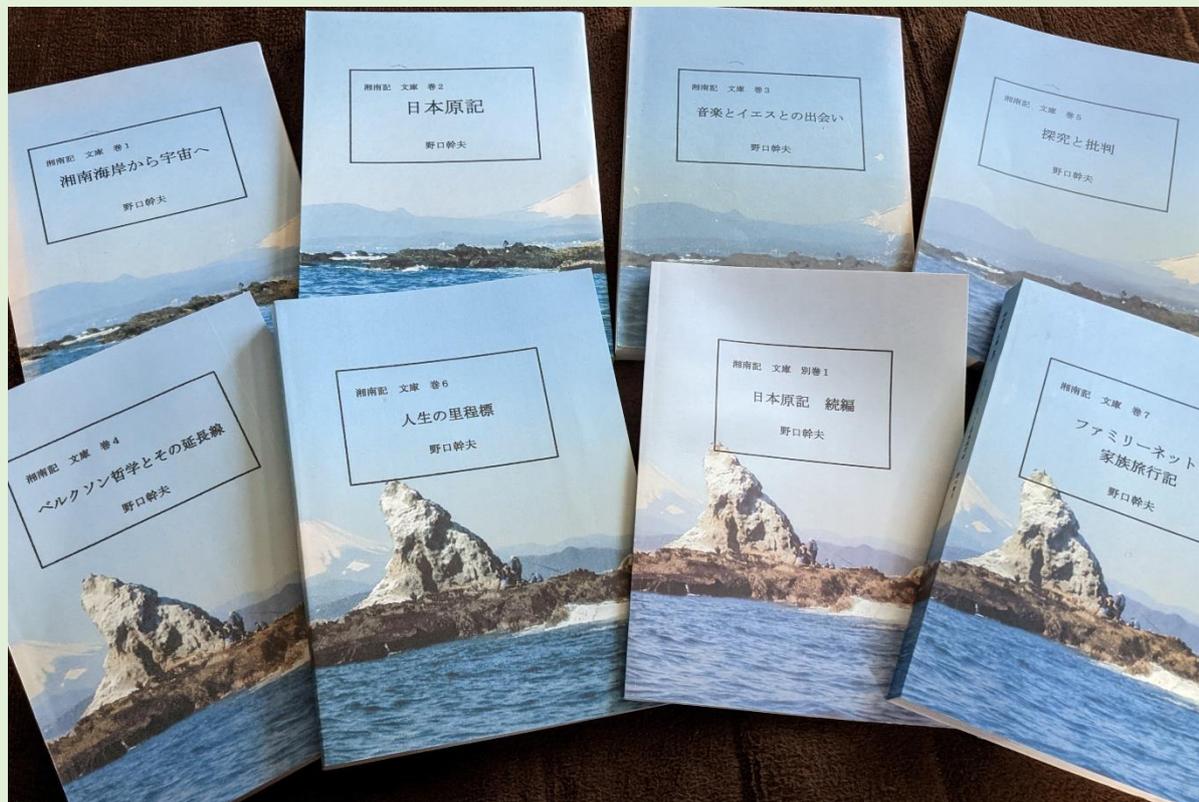
# 私の 8 冊の書

野口幹夫

幼いことから、なぜか記者になるつもりだった。小学校の時から三角ベースの草野球の記録をスポーツ記事にして新聞に仕立てた。松虫中学で新聞部ができたときはむろん入ったし学級新聞も一人で編集発行した。高津ではクラスにいるより新聞部の部室にいるほうが多かった。大阪朝日新聞社もしばしばいった。

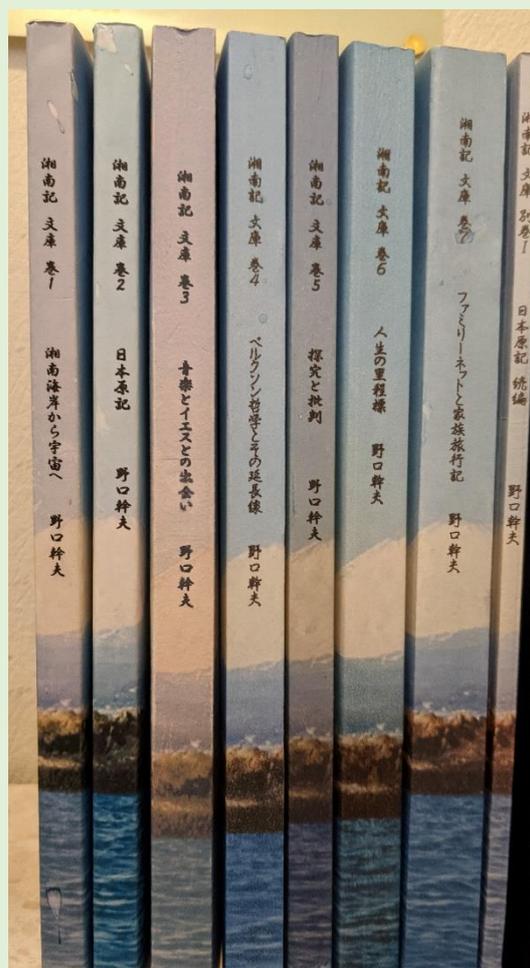
そこで幻滅したのかもしれない。阪大の受験の時に方向を変えて技術者になった。

しかし記者魂は今も健在だと思っている。高津の 5 期 HP の編集をしているのもその残差かも知れない。文章を書くこと、それが習性となっている。それを形にしたものが 8 冊の本である。



<湘南記 文庫全 8 冊> 内容

- 巻 1 湘南海岸から宇宙へ
- 巻 2 日本原記
- 巻 3 音楽とイエスとの出会い
- 巻 4 探求と批判
- 巻 5 ベルグソン哲学とその延長線
- 巻 6 人生の里程標
- 巻 7 ファミリーネットと家族旅行記
- 別巻 日本元記 続編



巻 7 のファミリーネットと家族旅行記を除いて、  
ほとんど高津 5 期の HP に掲載した文である。

太田さんのような立派な出版物ではない。安上りの自費出版でやり遂げた。印刷は全部野口印刷所（父の事業所名を引き継いだ）すなわち自分のプリンターでやった。

製本は幸いこの HP でもたびたび出場してくれている 11 期の井上文雄氏がやってくれた。彼は大阪松虫在で学校関係の雑誌などの製本をしておられたのだ。実費でやってくれた。

発行部数は各巻 20 冊 巻 1 だけは増刷して 50 冊になった。巻 7 のファミリーネットは子供と孫だけなので 10 冊 貴重な希少本ということは確かだが、値の張る稀観本ではない。